

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鹿児島南	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	論理・表現 I		学年	1年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 □	基本的な語句や言い回しを使って、日常のやりとりにおいて簡単な質疑応答をすることができる。	2, 4	パフォーマンステスト, ロールプレイ	1学期	ア
	SI2 □	なじみのある話題に関して、ゆっくり話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。	5, 6, 7	パフォーマンステスト, ロールプレイ	2学期	ア
	SI3 □	補助となる絵や物を用いて、社会的な話題も含め、簡単な意見交換をすることができる。	11	パフォーマンステスト, ロールプレイ	3学期	イ
Speaking Presentation	SP1 □	前もって話すことを用意した上で、身近なトピックについて、基本的な語句・定型表現を用いて、意見を言うことができる。	1, 3	スピーチ, プレゼンテーション	1学期	ア
	SP2 □	前もって話すことを用意した上で、身近なトピックについて、簡単な語句を用いて、複数の文で意見を言うことができる。	8, 9	スピーチ, プレゼンテーション	2学期	ア
	SP3 □	自分の考えを事前に準備し、メモ等の助けがあれば、なじみのある話題について短い話をするすることができる。	10, 12	スピーチ, プレゼンテーション	3学期	イ
Writing	W1 □	簡単な語彙や句・定型文などを用いて、身近なことについて自分の意見等を2~3文で書くことができる。	2, 4	考查, エッセイライティング	1学期	ア
	W2 □	辞書を引きながら、自分の経験や社会的な話題などを、4~5文程度で書くことができる。	6, 9	考查, エッセイライティング	2学期	イ
	W3 □	基本的な表現を用いて、接続詞でつなげながら、説明文などまとまりのある文章を書くことができる。	11	考查, エッセイライティング	3学期	イ

※左のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	鹿児島県立鹿児島南	高等学校	学 年:	1年
科目名:	論理・表現 I		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	SP	ア	スピーチ, プレゼンテーション	SP1□	前もって話すことを用意した上で, 身近なトピックについて, 基礎的な語句・定型表現を用いて, 意見を言うことができる。
	5	2	SI	ア	パフォーマンステスト, ロールプレイ	SI1□	基本的な語句や言い回しを使って, 日常のやりとりにおいて簡単な質疑応答をすることができる。
	6	2	W	ア	考査, エッセイライティング	W1□	簡単な語彙や句・定型文などを用いて, 身近なことについて自分の意見等を2~3文で書くことができる。
	6	3	SP	ア	スピーチ, プレゼンテーション	SP1□	前もって話すことを用意した上で, 身近なトピックについて, 基礎的な語句・定型表現を用いて, 意見を言うことができる。
	7	4	SI	ア	パフォーマンステスト, ロールプレイ	SI1□	基本的な語句や言い回しを使って, 日常のやりとりにおいて簡単な質疑応答をすることができる。
	7	4	W	ア	考査, エッセイライティング	W1□	簡単な語彙や句・定型文などを用いて, 身近なことについて自分の意見等を2~3文で書くことができる。
2	9	5	SI	ア	パフォーマンステスト, ロールプレイ	SI2□	なじみのある話題に関して, ゆっくり話されれば, 簡単な質疑応答をすることができる。
	10	6	SI	ア	パフォーマンステスト, ロールプレイ	SI2□	なじみのある話題に関して, ゆっくり話されれば, 簡単な質疑応答をすることができる。
	10	6	W	イ	考査, エッセイライティング	W2□	辞書を引きながら, 自分の経験や社会的な話題などを, 4~5文程度で書くことができる。
	11	7	SI	ア	パフォーマンステスト, ロールプレイ	SI2□	なじみのある話題に関して, ゆっくり話されれば, 簡単な質疑応答をすることができる。
	11	8	SP	ア	スピーチ, プレゼンテーション	SP2□	前もって話すことを用意した上で, 身近なトピックについて, 簡単な語句を用いて, 複数の文で意見を言うことができる。
	12	9	SP	ア	スピーチ, プレゼンテーション	SP2□	前もって話すことを用意した上で, 身近なトピックについて, 簡単な語句を用いて, 複数の文で意見を言うことができる。
	12	9	W	イ	考査, エッセイライティング	W2□	辞書を引きながら, 自分の経験や社会的な話題などを, 4~5文程度で書くことができる。
	1	10	SP	イ	スピーチ, プレゼンテーション	SP3□	自分の考えを事前に準備し, メモ等の助けがあれば, なじみのある話題について短い話をするすることができる。

3	2	11	SI	イ	パフォーマンステスト, ロールプレイ	SI3□	補助となる絵や物を用いて, 社会的な話題も含め, 簡単な意見交換をすることができる。
	2	11	W	イ	考査, エッセイライティング	W3□	基本的な表現を用いて, 接続詞でつなげながら, 説明文などまとまりのある文章を書くことができる。
	3	12	SP	イ	スピーチ, プレゼンテーション	SP3□	自分の考えを事前に準備し, メモ等の助けがあれば, なじみのある話題について短い話をするすることができる。

論理・表現 I 科目の目標

話すこと [やり取り]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。
話すこと [発表]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。
	イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。